



定部金貳圓 廣告費五圓 印刷費三圓
 郵税五厘 廣告費五圓 印刷費三圓
 發行所 常磐毎日新聞社
 電話六三〇番

刊夕日二月六

常磐毎日新聞
肉食の方が安価
 食糧問題と栄養問題とは重大密接なる關係を持つて世界各國の今後における發展の如何を暗示する一大目標とされるまでになつて來た此において食物の改善と栄養についての研究はまた一層の眞剣味を加へ各政府の下に國立の研究所へ設置され互ひに各國民の民族的

國家的發展の上に資せんと努めつゝある、その結果種々の論議が盛んにされ肉食主義の高唱となり食糧減量問題等々その意見が發表されるといふ有様になつて來た最も盛んなる論議は肉食と肉食説(勿論菜類や穀類果物類が混食されるが主として肉食の場合)とであるが栄養の本義から云へば動物性でも植物性でもその栄養素さへ充分に攝取し得るならば何れでもよいのである。故に動物性だからよい植物性だから悪いなどいふ事はなく吸収攝取され血となり肉とされた場合には蛋白質は蛋白質、脂肪

は脂肪といふやうに動物性植物性の何れからでも適宜に取つて身体が養はれるのである且又實際生活の上からいつても肉食論者のいふ如く國民全部が肉食主義者となつた場合を考へて見るに立派な牛や豚魚類があるのを捨て、無理に野菜や果物のみを取るとなれば非常に物價の高騰をなす現在の市價においても野菜類は決して肉類に比して安価ではないのである (つゞく)



代價拾錢
 藤田家傳
 藤田榮助
 平町四丁目電話三三八番

(新設)
 産婦人科 醫學士 松本 薫
 産婆 遠西をわ
 同 松本 妙子
 マッサージ 大塚喜一郎
 衛生試驗所血液試驗及細菌試驗其他ノ依頼ニ應ズ
 産婆看護婦講習通學生募集三十名

内科 小兒科 花柳科 (需應院入)
 平町紺屋町
藤沼醫院
 電話四五七〇番

霜降小倉
通學服 特價提供
 小學生用
 一號 六、七歳用 一圓五十錢
 二號 七、八歳用 一圓六十錢
 三號 八、九歳用 一圓七十錢
 四號 九、十歳用 一圓八十錢
 五號 十、十二歳用 一圓九十錢
 中學生用二圓八十錢より
 なかや洋服店
 平町二丁目(電話二〇三番)

磐城共濟病院
 院長醫學博士 助川 喜四郎
 副院長醫學博士 藤井 秀旭
 東洋醫學士 相澤 信明
 新開醫學博士 大瀧 潤家
 外科兼知醫學士 竹内 俊一
 醫學博士 小池 徳造
 醫學博士 押川 公介
 慈惠會醫學士 河合 健吉
 耳鼻喉科 千葉醫學士 長島 寅雄
 醫學博士 澤口 清治
 醫學士 吉本 孝平

便利と經濟の親玉
 瓦斯で火をおこすには電気・金物・特賣の「瓦斯火おこし」に限りません。炭がくずれず取扱に便利でございませう。特價たつた金物・特賣品です。御家庭用の釘・抜き・又は金・銀には「小松式四徳金鎖」をおすすめ致します。特價僅か廿貳錢で其の便利な事實に驚かします。特製打及物はすべて請合ひます。經濟の親玉文化電、東洋電、大正電の御試用をも願ひます。どうぞ見るだけでも來て見て下さい。
 平停車場前 平電氣株式會社
電機ト金物販賣部
 平町電四二八番

初夏の流行
 婦人洋傘!!
 小供洋服!!
 ワイシャツ!!
 「總ての準備は出来ました」
 店內に陳列網羅して有ます。
ツルヤ
 洋品店
 平町四丁目(電話百四十番)

強壯營養素「マルケイウイタミン」
効果の兩立 病弱の回復と健康の増進
 是非一度は御試驗あれ
 定價 一三圓 一五圓 一拾圓
 代理店 平町五丁目
山野邊藥局

あん餅で
東北一...
 鐵道省御用舖
花澤四良司菓子店

五月人形大賣出し
 武者人形 座敷鯉
 日丁四町平
スガ提灯店

初夏に
 品價特く向
 絹羽織... 五圓五十錢
 全... 七圓
 白... 七圓十五錢
 繪羽浴衣地三圓五十錢
 手拭中形 八十錢
 最モ買ヒヨイ店 合名 會社
中野吳服店
 電話六十七番

特價大出し
 武者人形 座敷鯉
 平町三丁目
金太郎玩具店
 教育玩具 毛糸諸糸 書籍文具 花カルフタ トランプ ハーニカ 學校用品 食料玩具
 (良品を廉賣致します)
 號商まめ屋
 卸問屋 森下商店
 目丁一町平

高久病院
 第二病室 増設
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町電話五二三番

平町と好間村との 水道取水契約改訂

平町の爲めには

萬事好都合に解決を告ぐ
平水道は好間村の大瀧江筋から一個三分の水を採つて居る、是れが爲め平町は毎年保償金として三百圓宛を好間村に交付し且つ早積積りである。

同村が

灌溉水に窮したと云ふ様な場合には平水道の取水量を半減するの條件になつて居る、是れが爲め取水量の半減に就いては兩者間に從來屢々意見の衝突を來す様な場合があつて此條項の存在は實質如何に拘らず平町としては甚だ煩しいものであつた、所が最近好間村から一時

一萬圓

を納めて貰ひ度いさすれば年々の保償金を受けなくともよろしい又揚水ポンプを設備して呉れば取水量半減の煩しい條項は是れを削除しても差支へがないと平町に申出て來た其結果今迄も數回交渉を重ね昨日も平町では水道委員を招集し好間村の

委員と

隔意なき意見の交換を試みた結果平町は取水量を従來の倍と爲す代り保償金を五百圓に改めまた揚水ポンプを設備して取水量半減の條項は除く事に決定兩者間に調印を了して茲に同問題は禍を後に残す所なく圓滿の解決を告げ

各町村財産

四百六十萬圓

石城郡七町卅三ヶ村に於ける五月末現在の財産高は基本財産八十六萬八千卅五圓特定の目的で設備してゐる特別基本十三萬九千七百七十一圓會費其他豫備三萬八千圓町村有財産二百五十五萬五千九百卅圓部落有財九十一萬四千三百四十三圓合計四百五十九萬七千九百五十三圓で前年より八萬餘圓を増加し所有財産の最も多きものは平町の八十五萬圓次は四倉町の七十五萬圓赤井村の四十九萬圓等であつて一般に預金及び貸金

あわびが 鑛毒で死滅

漁民が騒ぐ

藤原川改修を陳情
鮎と海草の産地で知られた石城郡泉村瀨濱では昨春秋の出水後從來小名濱町地内に引いてゐた藤原川が河身が變り新たに

二百餘間

沙漠地を南下して川床が出来たので多量の鑛毒を含む湯本町入山炭鑛の坑内排水が流出するためあわびや海草の蕃殖に多大の障礙を來し殊にあわびは來る七月の解禁を前にし

等に増加を見て來た
松吉屋の寄附 石城郡平窪村酒造家松吉屋松本金次郎氏は昨日同村小學校に電話機及び油繪額面を寄附せる由

鯉群近づき

各濱が出漁

俄かに活氣

鯉群がいよゝ太平洋沿岸に來遊して來たので本縣各濱の營業者は俄かに活氣づいた折柄江名町漁業組合の大成丸に去月下旬鯉十三百尾を銚子沖で釣獲千葉縣勝浦に水揚げしたとの報あり準備中であつた小名濱、江名町の作四倉等の漁業者は昨日より夏職に乘替へて銚子一沖に出漁したから鯉大漁の報も近いであらう。

二年前の

賞品を未だ

授與せぬ鹿島村

農會の怠慢
石城郡鹿島村農會では大正十三年十月水稲立毛品評會を催したが二ヶ年を経過し



挿木の絶好期

(其二)

グリヤ等の場合は根元から數本發芽して來たら、よい

たが未だ賞品の授與式もせず村農會として最近何等の仕事もせぬため石城郡役所では去る三十日山田農業技手を出張せしめ善後策を講せんとしたが農會長佐藤氏は巧に逃れて山田技手と面會せぬので己なく歸郡した

備へて生徒の

常識を涵養

平商業學校では卒業後直に實業に就く者大部分を占めてゐる關係から此の方面に關する教育を主として常識方面に於ても常に詳細なる注意を拂ひ各種雜誌新聞紙等を生徒控所に備へ置き時事問題等についても考究せしめてゐる右につき同校教諭は語る

總代人互選

石城販賣組合

石城郡販賣利用組合では來る五日午前九時から午後二時までの間に平町役場會議室で各町村總代人を互選するはすであるが總代は組合員五十名毎に一人の割合で互選数は平町一名四倉町三名大浦村三名草野村一名江名町一名である

三才の小兒

用水堀で溺死

石城郡好間村大字上好間字稻荷原魚商佐藤庄三郎長男佐藤徳三(三)は本日午後二時頃居宅附近の用水堰に誤つて轉落溺死した

繭市場建設

出荷其他打合

石城郡駐在尾形産業主事は大浦繭市場建設に關し出荷其他打合せのため三十日雙葉郡に至り三十一日郡衙に於て關係技術員と協議歸郡した

兎の耳

亘り害虫驅除に従事するとすらすらと名乗つた偽名は検事の弟の名 一日午前十一時東京區裁判所で渡邊修事上山源一(三)と云ふ住所不定の無職者が去る三月十日から四月七日迄の間上野帝國圖書館、日比谷圖書館で前後十二回に亘り外套外十數點を窃取したとの嫌疑で懲役十月を言渡された上山は四月中旬捕はれて警察の手から検事局へ送られた當時渡邊修と言ひはり警察官でもそれと信じ切つて居た彼が申立てた原籍と氏名を聞いて驚いた

平町人事

婚姻
△石城郡四倉町 仕立職丹野龍二郎(二五) 鈴木ミツ子(二四)
△長橋町五三 山田庄次郎(三三) 鈴木ミツ子(三二)
△新町九 鈴木ミツ子(三三) 鈴木ミツ子(三二)
△南町九 高橋(二四) 高橋(二四)
△田町一六 石坂包綱(六八)

害虫驅除

平窪村にて

石城郡平窪小學校生徒は來る七日及び十五日の二回に

目出度い噂に

郡役所張込む

石城郡役所は武井上席が官房主事になつて縣廳入りをする等との噂がありまた大越郡學も縣廳に入る可能性があるがある如く云はれて居るの